

# 研究協力のお願

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、各研究機関の長の許可を受けたくえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学 医学部 衛生学・公衆衛生学教室

北里大学 一般教育部

## 記

研究の名称	日常歩数が閉経後女性の大腿骨頸部骨密度に与える効果に関する縦断研究 -JPOS コホート研究-
対象	「骨粗しょう症性骨折の予防のための疫学調査」(Japanese Population-based Osteoporosis コホート研究)の 2011-2012 年に行った 15 年次追跡調査に参加した時に閉経しており、その後 2015-2017 年に行った 20 年次追跡調査に参加された方が本研究の対象です。調査を行った場所は香川県さぬき市、福島県西会津町、新潟県上越市、北海道芽室町です。
研究期間	研究実施許可日 ~ 2025 年 3 月 31 日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	<p>利用目的：骨粗しょう症は、骨がもろくなることで骨折しやすい状態になる病気です。骨には、「力がかかると強くなり、力がかかると弱くなる」という性質があります。したがって日常生活の中で、家事や仕事、散歩などで沢山歩いている人では骨にかかる力が多いため骨密度が高いのに対して、あまり歩かない人では骨密度が低く骨がもろくなりやすい可能性があります。</p> <p>しかし、「沢山歩く」や「あまり歩かない」に関して具体的な歩数の値は明らかにされていません。これらの歩数の値が明らかになれば、骨粗しょう症を予防する、もしくは起こしやすくなる歩数の値を提示することで、骨粗しょう症予防に貢献できると考えています。</p> <p>そこで、本研究では 15 年次調査で測定した歩数値がその後 5 年間の骨密度の変化に対する影響を検討するために、下記の解析を行います。</p> <p>利用方法：①15 年次調査で測定した歩数値とその後 5 年間の大腿骨近位部（太腿の骨が骨盤に接合する部分）骨密度の減少量、または骨密度年間変化率（5 年間の骨密度変化量を 15 年次追跡時の骨密度で除した値）との関連を検討します。</p> <p>②15 年追跡時の歩数値をグループ分けし、歩数の「多い少ない」グループ間で骨密度減少の大きさを比較検討します。</p> <p>③具体的にどれ位の歩数ならば適切なのか詳しく分析します。</p> <p>④研究結果は学会や論文にて公表予定です。</p> <p>本研究は、大阪医科薬科大学 医学部 衛生学・公衆衛生学教室 教授 玉置 淳子と北里大学 一般教育部 教授 北川 淳との共同研究として行われるため、情報は北里大学 一般教育部 北川 淳 研究室へ提供されますが、加工して個人を特定できないように対処したうえで取り扱います。また、情報は北川研究室内のパスワードが設定されたパソコン内に保存され、遺漏しないように厳重に管理され</p>

	<p>ます。</p> <p>対象者の方(あるいは代理人)のお申し出により、他の対象者等の個人情報保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究に関する資料を入手・閲覧できますので、ご希望の際は下記の問い合わせ窓口へご連絡ください。</p>
<p>利用し、又は提供する試料・情報の項目</p>	<p>試料：なし</p> <p>情報：「骨粗しょう症性骨折の予防のための疫学調査」として、2011年から2012年に行った追跡調査と2015年から2017年に行った追跡調査で収集した年齢、身長、体重、骨密度、アンケート調査内容。</p>
<p>利益相反について</p>	<p>大阪医科薬科大学／北里大学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、この研究は、大阪医科薬科大学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。また、共同研究機関である北里大学においては、北里大学の利益相反マネジメントポリシーに則して実施する。</p>
<p><b>研究者名</b></p> <p>【研究責任（代表）者】 大阪医科薬科大学 医学部 衛生学・公衆衛生学 教授 玉置 淳子</p> <p>【共同研究機関】 北里大学 一般教育部 教授 北川 淳</p>	
<p><b>参加拒否の申し出について</b></p> <p>ご自身の情報を研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場合は、下記の連絡先までお願いいたします（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。</p>	
<p><b>&lt;問い合わせ窓口&gt;</b></p> <p>【主管研究機関】 〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号 大阪医科薬科大学 医学部 衛生学・公衆衛生学教室 担当者 津田 晃司 連絡先 072-683-1221（代） 内線 2651</p> <p>【共同研究機関】 〒252-0373 神奈川県相模原市南区北里1-15-1 北里大学 一般教育部 担当者 北川 淳 連絡先 042-778-8259（直通）</p>	

# 研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿  
大阪医科薬科大学  
研究責任者 玉置 淳子 殿

研究の名称	日常歩数が閉経後女性の大腿骨頸部骨密度に与える効果に関する縦断研究 -JPOS コホート研究-
-------	--

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否します。

年 月 日 対象者 住所

氏名（自署）

※ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者（続柄： ）

住所

氏名（自署）